

アンケート調査（案）

1. アンケートの構成

以下に示す3種類のアンケートを行い、再編による現利用者の利用頻度向上への効果や、非利用者(現在利用がないが、潜在的に利用の可能性のある市民)の利用頻度の想定に活用する。

① 利用者アンケート

- ・ 現在バスを利用している人を対象に配布
- ・ 現在の利用者の、利用頻度アップの効果を測定

②-1 非利用者アンケート(沿線居住者)

- ・ 広域幹線・都心幹線沿線に居住する潜在的な利用者
- ・ 広域幹線の沿線・上毛電鉄の駅周辺(鉄道と組み合わせた都心幹線利用)の、利用機会創出の効果を測定
- ・ 沿線人口に、アンケートによる利用率を乗じて利用者数を推計

②-2 非利用者アンケート(沿線施設来訪者)

- ・ 広域幹線・都心幹線沿線に来訪している潜在的な利用者
- ・ 現在、バス以外の手段で来訪している人を対象に検討
- ・ 利用機会創出の効果を測定
- ・ 施設来訪者数に、アンケートによる利用率を乗じて利用者数を推計

2. 利用者アンケート調査

2-1-1 調査方法

バス停に調査員を配置し、調査票および依頼状・説明資料(再編イメージ)をセットで配布し、調査票のみを回収する。

新町・玉村線においてのみ、調査員がバスに乗り込み、バス車内で配布・回収する。

(1) 調査日程

11/18以降の平日(火～木のいずれか)

※新町・玉村線については他の路線と調査日を分ける

(2) 配布場所・時間

1) 都心幹線関連系統

以下のバス停・時間帯で配布を行う。

系統・方向		前橋駅			本町			市役所・合庁前			県庁前		
		朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕
都心幹線① (庁系統)	北行(→)	乗	乗	—	乗	乗	—	—	—	—	—	—	—
	南行(←)	—	降	降	—	降	降	—	—	—	—	—	—
都心幹線② (西・高系統)	北行(→)	—	—	—	降	降	—	降	降	—	降	降	—
	南行(←)	—	—	—	—	乗	乗	—	乗	乗	—	乗	乗

朝：6時～10時

昼：10時～15時

夕：15時～21時

乗：対象バス停で待っている人、並んでいる人に対して配布

降：対象バス停で、バスを降りた人に対して配布

庁系統：郊外→前橋駅→県庁・市役所→前橋公園(終着)の系統

西・高系統：郊外→県庁・市役所→前橋駅(終着)の系統

※ ①、②いずれも、前橋駅～県庁・市役所・前橋公園間の区間利用の利用者をターゲットとして配布時間・方向を設定

2) 前橋・渋川線関連系統

系統・方向		前橋駅			群大病院			群馬大学荒牧		
		朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕
前橋・渋川線	北行(下り)	乗	乗	—	—	—	—	—	—	—
	南行(上り)	降	降	—	—	—	—	—	—	—

前橋駅以外のバス停利用者(群大病院、群馬大学荒牧など)の乗降者への配布は、重複を避けるため実施せず、前橋駅のみでのアンケート配布とする。

3) 新町・玉村線関連系統

新町玉村線	前橋駅～下川団地間の全便に乗り込んで配布
-------	----------------------

(3) 配布部数

系統・方向		前橋駅			本町			市役所・合庁前			県庁前		
		朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕
都心幹線 (庁系統)	北行	配：112 回：28		—	僅少		—	—			—		
	南行	—	配：50 回：13		—	僅少		—			—		
都心幹線② (西・高系 統)	北行	—			僅少		—	配：44 回：11		—	配：44 回：11		—
	南行	—			—	僅少		—	配：46 回：11		—	配：46 回：11	
小計		配：162 回：41			僅少			配：90 回：22			配：90 回：22		
計		配：342, 回：85											

※配布数は過去の乗降調査より配布数を算定。

※回収率は25%（H29年度実績27%）と想定。

前橋・渋川線	前橋駅
配布	600
回収	120

※利用者のおおむね10%より回答を得ることを目標に配布数を設定。回収率は20%と想定。

※関越交通系統別年間輸送実績(2018)より、前橋～渋川路線における1日当たり輸送人員約1,200人より、その10%である120人より回答を得たい。回収率は20%と想定し、配布は600部とする。

新町・玉村線	乗り込み調査
配布	200人
回収	60人

※利用者のおおむね20%より回答を得ることを目標に配布数を設定。回収率は30%と想定。

(4) 回収

都心幹線 前橋・渋川線	<ul style="list-style-type: none">● 回答用紙ハガキによる回答、またはWEBフォームによる回答を選択できるようにする。 <p>※ 締切:12/15(日)投函・送信分まで</p>
新町・玉村線	<ul style="list-style-type: none">● 調査員が降車時等に回収する。● WEBフォーム、ハガキ郵送での回答も可とする

2-1-2 調査物件

アンケート票(ハガキ)および依頼状兼再編概要チラシを封筒に入れて配布する。
新町玉村線では、その場で回答ができるようクリップペンを付す。

(1) アンケート票

個人属性および、現状の利用頻度と再編実施後の利用頻度を問う内容とする。

質問 1	年齢 ()歳
質問 2	職業 1.会社員 2.公務員・団体職員 3.自営業 4.主婦 5.学生・生徒 6.無職 7.その他()
質問 3	住所(丁目まで) (市 町 丁目)
質問 4	別紙に示す再編が実現した場合、あなたはバスの利用回数を増やしますか？ 1.はい 2.いいえ 3.どちらでもない
質問 5	前の質問で「1.はい」とお答えの方にお聞きします。 再編が実現した場合、どれくらいお使いになると思いますか。 1. 週 5 日(平日毎日) 2. 週 3~4 日 3. 週 1~2 日 4.月 1~2 日 5.半年に 1~2 回 6.それ以下
質問 6	質問 4 で「2.いいえ」とお答えの方にお聞きします。 バス利用を増やさない理由をお聞かせください。 ()
質問 7	すべての方にお聞きします。 現在のバスの利用頻度はどれくらいですか。 1. 週 5 日(平日毎日) 2. 週 3~4 日 3. 週 1~2 日 4.月 1~2 日 5.半年に 1~2 回 6.それ以下 7.まったく利用しない

※都心幹線、前橋・渋川線、新町・玉村線で区別できるようにする。

※WEB 回答フォームへのリンク QR コードを印刷する

(2) 再編概要チラシ

1 (案)

中心市街地のバスの 使いやすさ向上を検討中!

改善案

- まちなかの移動でバスが使いやすくなります。
- 前橋駅で鉄道への乗り継ぎ時間が長くないようにします。
- 中央前橋駅経由県庁方面のバスを新設し、立川町周辺へ行きやすくします。
- まちなかからけやきウォークへ、バスで行きやすくなります。

本町・中央前橋ラインから
4便/時間程度を直通運行

**前橋公園方面
へも一部直通**



概ね
1便/時間
※前橋駅～立川町通
～県庁前を経由
する系統

**日中
30分間隔**

**立川町通りの
バスも便利に**

**中央前橋駅から県庁
方面へバスで接続**

**都心部を通る路線を
パターンダイヤ化で
使いやすく**

**日中 最大
25分間隔**
※県庁方面行き
前橋駅発時刻

**日中 最大
10分間隔**

本町・中央前橋ライン
から4便/時間程度を
直通運行

**けやきウォーク
前橋方面へも
一部直通**



【凡例】

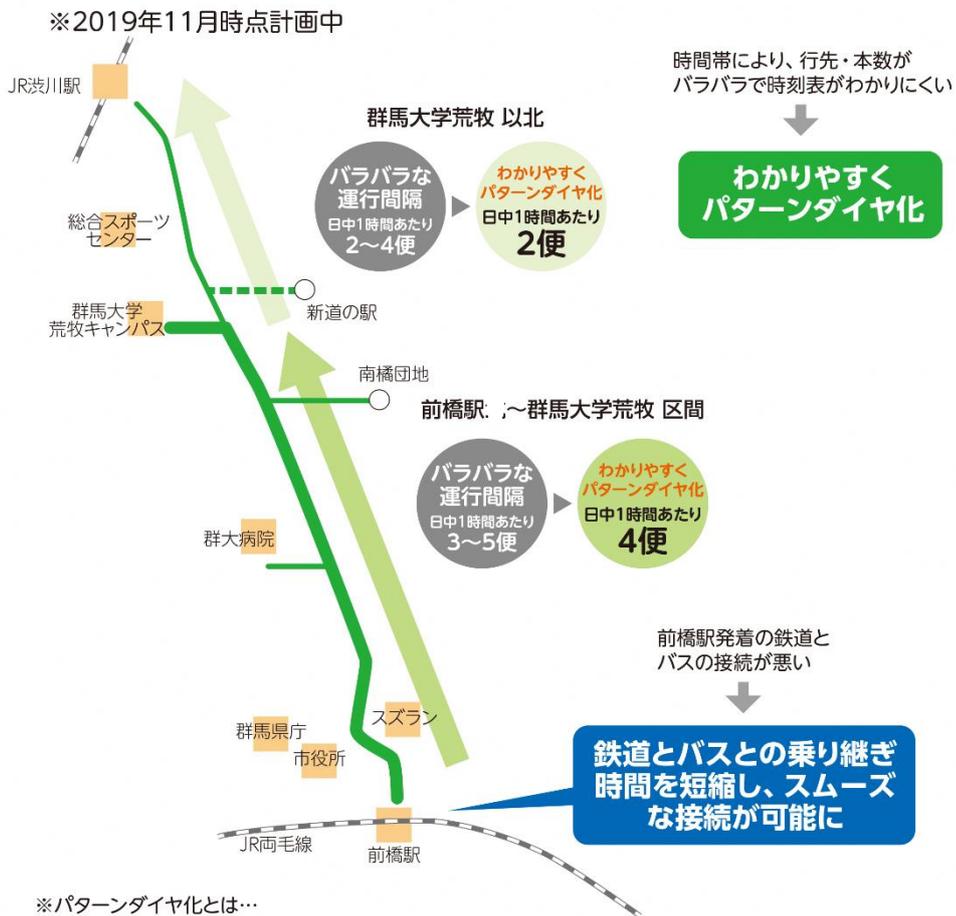
- 広域幹線(鉄道)
- 広域幹線(バス)
- 都心幹線バス(中央前橋ライン)
- 都心幹線バス(本町ライン)

※2019年11月時点計画

渋川駅～前橋駅間のバスの 使いやすさ向上を検討中!

改善案

- パターンダイヤ化により、時刻表がわかりやすくなります。
- 前橋駅で鉄道への乗り継ぎ時間が長ならないようにします。
- 新たな道の駅と接続し、バスで道の駅が利用できるようにします。

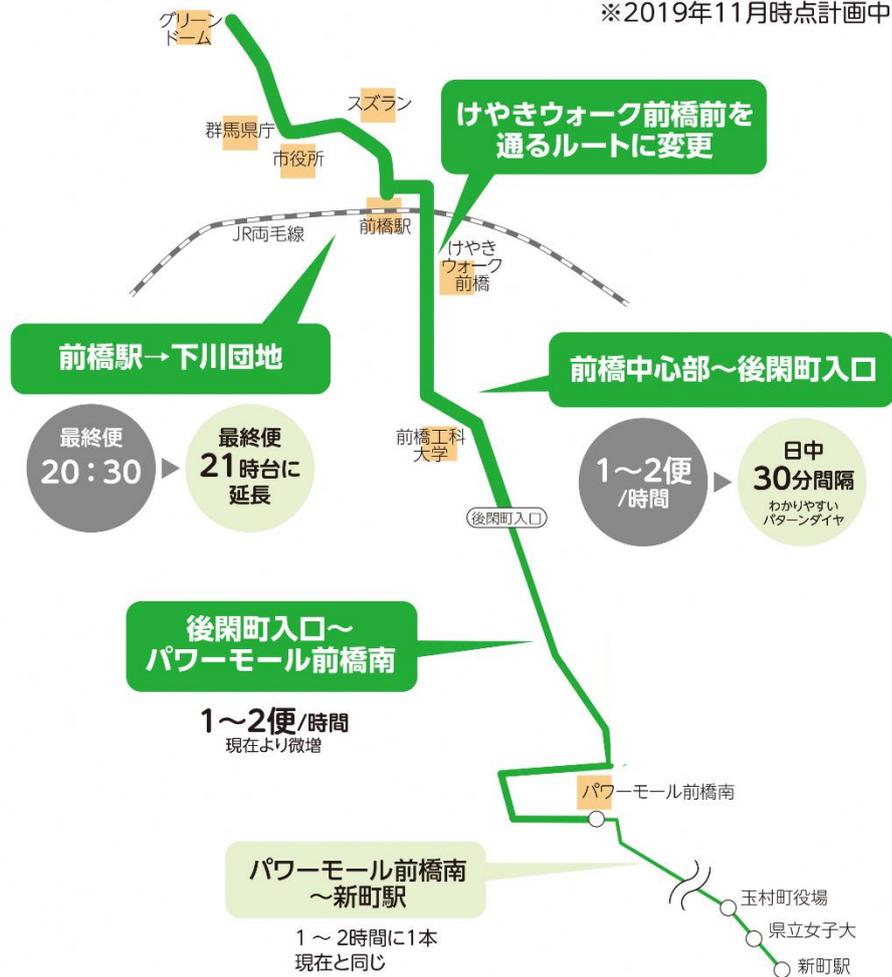


新町・玉村町方面のバスの 使いやすさ向上を検討中!

改善案

- 本数を増やし、市街地では30分に1本の「パターンダイヤ」とします。
- 最終便を21時台に繰り下げます。
- ルートをわかりやすくし、買物施設に立ち寄りやすくします。

※2019年11月時点計画



バスを快適に利用できる環境づくりに努めます

- バス停の上屋・ベンチ等の設置などにより、快適にバスを待てる環境づくりに努めます
- バス停への駐輪場設置(サイクルアンドバスライド)により、自転車と組み合わせて移動しやすい環境づくりに努めます

■バス停への上屋設置(イメージ)



■サイクルアンドバスライド駐輪場の設置



3. 非利用者アンケート(沿線居住者)

3-1-1 調査方法

(1) 調査日程

11/18 以降に配布開始

(2) 配布対象および配布部数

- 調査物件を対象エリア各世帯にポスティング
 - ポスティング部数について、世帯により人数が異なるが、ポスティングは世帯単位で同じ部数を投入することになるため、一律に1世帯1枚の回答票を配布するものとして考える。
 - 複数人世帯においては、任意の構成員1名に回答してもらうこととなるが、普段バスを使わない人に回答いただくことが望ましい。
→依頼文 or 封筒にその旨を記載する。
- 回覧板によるアンケート告知の配布。沿線自治会に対して依頼。

1) 新町・玉村線

沿線地域を対象に 1,710 部を配布し、513 部の回収を想定。

路線名	町名	世帯	配布数	目標回収数
新町玉村線	天川原町一丁目	853	250	75
新町玉村線	天川原町二丁目	523	160	48
新町玉村線	六供町	2,595	750	225
新町玉村線	六供町一丁目	271	80	24
新町玉村線	六供町四丁目	46	20	6
新町玉村線	上佐鳥町	743	220	66
新町玉村線	下川町	778	230	69
新町玉村線	合計	5,809	1,710	513

※回収率 30%を想定。

2) 前橋・渋川線

沿線地域を対象に 1,740 部を配布し、522 部の回収を想定。

線名	町名	世帯	配布数	目標回収数
前橋渋川線	関根町一丁目	202	40	12
前橋渋川線	関根町二丁目	453	90	27
前橋渋川線	荒牧町一丁目	623	120	36
前橋渋川線	荒牧町二丁目	695	140	42
前橋渋川線	上小出町一丁目	591	120	36
前橋渋川線	上小出町二丁目	668	130	39
前橋渋川線	上小出町三丁目	731	140	42
前橋渋川線	下小出町一丁目	484	100	30
前橋渋川線	下小出町二丁目	961	190	57
前橋渋川線	下小出町三丁目	453	90	27
前橋渋川線	昭和町一丁目	370	80	24
前橋渋川線	昭和町三丁目	676	130	39
前橋渋川線	国領町一丁目	435	90	27
前橋渋川線	国領町二丁目	505	100	30
前橋渋川線	千代田町三丁目	193	40	12
前橋渋川線	住吉町一丁目	344	70	21
前橋渋川線	住吉町二丁目	321	70	21
前橋渋川線	合計	8,705	1740	522

※回収率 30%を想定。

3) 上毛電鉄沿線

上毛電鉄と都心幹線の接続により都心来訪時の鉄道・バス利用への効果を検討することを目的とし、沿線の以下の範囲に対してアンケートを配布する

駅名	500m圏内人口 (概算)	都心来訪率	一人当たり 駅利用トリップ数 (500m圏内居住者)	一人当たり 駅利用トリップ数 (500m～1km圏内居住者)	配布対象
中央前橋	2,664	0.80	0.00	0.00	
城東	2,559	0.19	0.00	0.00	
三俣	3,633	0.11	0.03	0.01	○
片貝	1,487	0.06	0.07	0.00	○
上泉	871	0.19	0.05	0.01	
赤坂	1,387	0.04	0.00	0.04	○→対象範囲を1km圏内(概算2,773人)とする
心臓血管センター	743	0.09	0.08	0.00	
江木	1,387	0.06	0.00	0.00	
大胡	1,527	0.03	0.07	0.08	○→対象範囲を1km圏内(概算6,045人)とする
樋越	1,550	0.05	0.04	0.00	
北原	564	0.00	0.01	0.06	
新屋	750	0.02	0.09	0.06	
粕川	541	0.03	0.07	0.06	
膳	539	0.00	0.04	0.05	

- ✓ 周辺人口で上位の駅の周辺地域を配布対象とする
- ✓ 中央前橋駅、城東駅は周辺住民の駅利用トリップが見込めないため、配布対象から除外する。
- ✓ 赤坂駅、大胡駅については、500m～1kmの居住者も駅を利用しており、対象範囲を1km圏内とする。
- ✓ 樋越駅については、500m圏内人口が多いが、500m～1km圏外人口が少なく、隣接する大胡駅で6,000人規模を対象範囲とするため、樋越駅は対象外とする。
- ✓ 以上より、三俣駅500m圏内、片貝駅500m圏内、赤坂駅1km圏内、大胡駅1km圏内を配布対象とする。

沿線地域を対象に 1,780 部を配布し、534 部の回収を想定。

町名	世帯	配布数	目標回収数
城東町五丁目	546	70	21
三俣町一丁目	779	90	27
三俣町二丁目	536	70	21
下沖町	549	70	21
西片貝町一丁目	439	60	18
西片貝町二丁目	939	110	33
西片貝町三丁目	564	70	21
西片貝町五丁目	619	80	24
上泉町	2,007	240	72
石関町	102	20	6
亀泉町	629	80	24
堀之下町	353	50	15
泉沢町	300	40	12
大胡町	664	80	24
茂木町	1,563	180	54
堀越町	1,627	190	57
河原浜町	539	70	21
樋越町	1,294	150	45
上大屋町	442	60	18
合 計	14,491	1780	534

※回収率 30%を想定。

(3) 回収

- 回答用紙をハガキとし、郵送にて回収、もしくはWEBフォームによる回答とする

※ 締切:12/15(日)投函分まで

3-1-2 調査物件

アンケート票(ハガキ)および依頼状兼再編概要チラシを封筒に入れて配布する。

(1) アンケート票

個人属性および、現状の利用頻度と再編実施後の利用頻度を問う内容とする。

質問 1	年齢 ()歳
質問 2	職業 1.会社員 2.公務員・団体職員 3.自営業 4.主婦 5.学生・生徒 6.無職 7.その他()
質問 3	住所(丁目まで) (市 町 丁目)
質問 4	別紙に示す再編が実現した場合、あなたはバスの利用回数を増やしますか? 1.はい 2.いいえ 3.どちらでもない
質問 5	前の質問で「1.はい」とお答えの方にお聞きします。 再編が実現した場合、どれくらいお使いになると思いますか。 1. 週 5 日(平日毎日) 2. 週 3~4 日 3. 週 1~2 日 4.月 1~2 日 5.半年に 1~2 回 6.それ以下
質問 6	質問 4 で「2.いいえ」とお答えの方にお聞きします。 バス利用を増やさない理由として以下からあてはまるものをお選びください。 (複数回答可) 1.バス停まで遠いため 2.足腰が弱いため 3.時刻を調べるのが面倒 4.バス沿線に目的地がない 5.車等の他の手段が便利だから 6.その他()
質問 7	すべての方にお聞きします。 現在のバスの利用頻度はどれくらいですか。 1. 週 5 日(平日毎日) 2. 週 3~4 日 3. 週 1~2 日 4.月 1~2 日 5.半年に 1~2 回 6.それ以下 7.まったく利用しない

※WEB 回答フォームへのリンク QR コードを印刷する

4. 非利用者アンケート(沿線施設来訪者)

4-1-1 調査方法

(1) 調査日程

- ・ 11/18以降の平日(火～木のいずれか)
- ・ ただし、次の施設については週末のみ実施とする
 - ・ 元気 21、市立図書館、テルサ、スズラン、リリカ、けやきウォーク、パワーモール前橋みなみ

(2) 配布場所・枚数

以下の施設を候補とし、配布の承諾をいただける施設にて配布を行う。

No.	施設名	住所	来場者数 (人/日)	配布数	目標回収数	関係路線		
						都心	新玉	関越
1	元気 21	本町 2 丁目 12-1	3,097	520	156	○		○
2	前橋市役所	大手町 2 丁目 12-1	780	130	39	○		○
3	市立図書館	大手町 2 丁目 12-9	282	50	15	○		○
4	テルサ	千代田町 2 丁目 5-1	3,000 ^{※2}	500	150	○		○
5	スズラン	千代田町 4 丁目 7	3,000 ^{※2}	500	150	○		○
6	群馬大学教育学部	荒牧町 4 丁目 4-2	944	160	48			○
7	けやきウォーク	文京町 2 丁目 1-1	3,000 ^{※2}	500	150	○	○	
8	前橋工科大学	上佐鳥町 460-1	1,318	220	66		○	
9	県立前橋南高	亀里町 1	715	715 ^{※3}	215		○	
10	パワーモール前橋みなみ	新堀町	3,000 ^{※2}	500	150		○	
合計			19,136	3,795	1,139			

※1 来場者数のおおむね 5%より回答を得ることを目標に配布数を設定。回収率は 30%と想定。(配布枚数=来場者数×10%/25%)

※2 来場者数が不明であるテルサ、スズラン、リリカ、けやきウォーク、パワーモール前橋みなみについては元気 2 1 と同等の来場者数が見込めると想定し、来場者数は 3,000 人/日と仮定した。

※3 県立前橋南高校は、学校への協力を打診して、全数配布を想定。

(3) 配布方法

原則として、調査員の声かけ・手渡しによる配布を行う。

施設側の協力が得られる場合は、施設窓口担当者を通じて職員等への配布を行う。

(4) 回収

- 回答用紙をハガキとし、郵送にて回収、もしくはWEBフォームによる回答とする

※ 締切:12/15(日)投函分まで

4-1-2 調査物件

アンケート票(ハガキ)および依頼状兼再編概要チラシを封筒に入れて配布する。

(1) アンケート票

少数の個人属性および、現状の利用頻度と再編実施後の利用頻度を問う内容とする。

質問 1	年齢 ()歳
質問 2	職業 1.会社員 2.公務員・団体職員 3.自営業 4.主婦・主婦 6.学生・生徒 7.無職 8.その他()
質問 3	住所(丁目まで) (市 町 丁目)
質問 4	別紙に示す再編が実現した場合、あなたはバスの利用回数を増やしますか? 1.はい 2.いいえ 3.どちらでもない
質問 5	前の質問で「1.はい」とお答えの方にお聞きします。 再編が実現した場合、どれくらいお使いになると思いますか。 1. 週 5 日(平日毎日) 2. 週 3~4 日 3. 週 1~2 日 4.月 1~2 日 5.半年に 1~2 回 6.それ以下
質問 6	質問 4 で「2.いいえ」とお答えの方にお聞きします。 バス利用を増やさない理由として以下からあてはまるものをお選びください。 (複数回答可) 1.バス停まで遠いため 2.足腰が弱いため 3.時刻を調べるのが面倒 4.バス沿線に目的地がない 5.車等の他の手段が便利だから 6.その他()
質問 7	すべての方にお聞きします。 現在のバスの利用頻度はどれくらいですか。 1. 週 5 日(平日毎日) 2. 週 3~4 日 3. 週 1~2 日 4.月 1~2 日 5.半年に 1~2 回 6.それ以下 7.まったく利用しない

※端部に P18 の施設番号 (No.) 1~10 を記載できる欄を付し、配布施設を区分する印がつけられるようにする。

※WEB 回答フォームへのリンク QR コードを印刷する

以上